



周防建設第 289 号
平成 20 年 10 月 17 日

国土交通省道路局長 様

周防大島町長 中 本 富 夫



今後の道路行政についての意見・提案の提出について(回答)

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のありました、標記の件につきまして
別添のとおり提出しますので、よろしくお取り計らい願います。

山 口 県 周防大島町役場
産業建設部長 齋 藤 正 明
TEL 0820-79-1003

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

山口県 周防大島町

1. 地域間格差を是正し、地方が元気になるためのネットワーク道路の整備を確実に進めること
2. 暮らしのために必要な地方の道路整備に対しては、十分な予算措置がなされること
3. 特に地方にとって使い勝手のよい地方道路整備臨時交付金制度の更なる拡充を図ること
4. 暫定税率の失効期間中の地方の減収については、各地方団体の財政運営に支障が生じないよう、国の責任において適切な財源措置を講じること

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

様式 ②

山口県 周防大島町

○現状

周防大島町は、山口県東南部に位置し、総面積138.11Km²と瀬戸内海で3番目の面積を有し、大島瀬戸を渡る大島大橋によって本土と連結しています。

瀬戸内海の豊かな自然や貴重な歴史的・文化的資産の活用による広島都市圏、松山都市圏との広域的な交流・連携により発展する中国四国地域連携軸として位置づけられます。

本町の道路網は、国道437号を中心に、主要県道大島環状線、橘東和線及びそれに接続する4路線、町道837路線・総延長447kmを有し、他市町や町内集落と相互に連結し、住民生活や産業活動の基盤となっています。

○課題

本町の身近な課題としては一体的発展と広域的な連携・交流基盤である広域幹線道路については、国道437号の未改良区間の整備や広域幹線道路と連結する県道改良の早期完成が待たれる。

将来的には本土との唯一の交通連絡道は大島大橋であり、東南海南海地震や台風等の被災に際しても陸の孤島にならないような災害に強い道路整備が望まれる。

今後の道路行政についての意見・提案

②-2 地域の目指すべき将来像

様式③

山口県 周防大島町

住民一人ひとりが、心と体の健康を保ち、生きがいをもって元気に暮らす生涯現役のまち、また住民が互いに思いやり、ふれあい、支えあいがらいきいきと暮らすとき、人は輝き、まちに活力が生まれます。「生涯現役」ということばを生んだ周防大島町は、わが国がやがて迎える少子高齢社会の先駆的役割を担ってます。

人と人、人と自然、人と歴史をつなぎ、合併という未来への投資を選択した周防大島町は、「人・まち☆きらり」を基調に、元気な町の再生と、将来を担う子や孫に笑顔あふれる大きな舞台を展望し、誰もが安心して暮らせる未来の実現へ向け、住民と行政との協働による自主自立の住民本位のまちづくりを確立する。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

山口県 周防大島町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	高規格幹線道路の整備 バイパス・環状道路の整備 国道の整備	車での通勤ラッシュの緩和により、町内から地方部の通勤区域が拡大される。 交通網の整備により、時間的な制約がなくなり他地域の観光地との複合的な観光ルートへの組入が期待される。 地場産業であるみかんや鮮魚等の産地直送のさらなる進展により品質価値の向上が図れる。	
・水害等の災害に強い国土づくり	橋梁の整備及び防災対策における橋梁等の耐震補強の推進	大災害における避難経路及び補給物資の確保に対して橋の果たす役割は重要であり、町民が安心して住める町づくりにかかせない。	